

授業科目

高齢者福祉実践演習

担当教員名 松山 茂樹、大鳥 恵美(非)	対象学年	1・2	対象学科	社会福祉学
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

授業の概要

1. 高齢者の虐待及びその背景を理解させ、その予防と発見、発見後の対応が行えるようにする。
2. 成年後見人に必要な知識・技術を習得し、成年後見人が活用できるようにする。

授業の目的

高齢者福祉実践としての虐待対応及び後見支援の適正かつ効果的な運用について理解する。

学習目標

1. 高齢者虐待について具体的な対応方法を知り、対処ができるようになる。
2. 成年後見制度の申立支援や、成年後見人受任ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	担当教員
1	少子高齢社会の現状と課題	松山 茂樹
2	高齢者のニーズ把握とケアマネジメント	松山 茂樹
3	高齢者支援のためのサービスや社会システムの概要	松山 茂樹
4	介護保険法・老人福祉法・関連法規	松山 茂樹
5	高齢者の所得保障と医療保障	松山 茂樹
6	高齢者虐待防止法	松山 茂樹
7	要援護高齢者・認知症高齢者等の生活課題	松山 茂樹
8	高齢者虐待の現状と傾向	松山 茂樹
9	地域包括支援センターと地域支援事業	松山 茂樹
10	市町村の責務と権限行使	松山 茂樹
11	虐待対応のためのツール等	松山 茂樹
12	虐待対応モデルチャート	松山 茂樹
13	高齢者虐待の適切な対応を図るための関係機関・専門職等との連携	松山 茂樹
14	在宅の高齢者虐待の事例研究	松山 茂樹
15	入所施設における高齢者虐待の事例研究	松山 茂樹
16	権利擁護の視点	松山 茂樹
17	成年後見制度の概要 1	松山 茂樹
18	成年後見制度の概要 2	松山 茂樹
19	成年後見制度の動向	松山 茂樹
20	日常生活自立支援事業の概要	松山 茂樹
21	成年後見受任と後見事務 1	松山 茂樹
22	成年後見受任と後見事務 2	松山 茂樹
23	任意後見制度	松山 茂樹
24	成年後見に関する関係機関・専門職等との連携	松山 茂樹
25	成年後見制度の相談と申立支援	松山 茂樹
26	知的障害者の後見事例研究	松山 茂樹
27	精神障害者の後見事例研究	松山 茂樹
28	在宅の認知症高齢者の後見事例研究	松山 茂樹
29	施設入所被後見人の事例研究	松山 茂樹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	その都度資料配布					

評価方法

授業時の状況及びレポートによる評価

履修上の留意点

この科目は、認定社会福祉士の認定単位の対象となる高齢分野専門科目の「虐待への対応（高齢者）」1単位および「後見制度の活用（成年）」1単位、合計2単位を含むことが、認定社会福祉士認証・認定機構より認められた科目である。

オフィスアワー・連絡先

松山研究室（E棟313）

オフィスアワー：毎週水曜日午後15時以降

メールアドレス：matuyama@nuhw.ac.jp